会員向け会報誌

あいしん Letter

Vol.8

二〇二三年（令和五年）上半期

一般社団法人 愛知県鍼灸師会
Aichi Acupuncture & Moxibustion Association

〒451-0063 名古屋市西区押切 2-2-5
TEL.052-908-0123 FAX.052-908-0086
http://aishinkai.harikyu.or.jp
info@aishinkai.harikyu.or.jp

【全国大会 in 愛知 を終えて】

昨年は、日本鍼灸師会全国大会ｉｎ愛知で明け暮れた年でした。おかげ様をもちまして、６２８名と当初予測の２倍近い参加者になりました。

参加された先生方からは「ヒトを診るというテーマに興味が引かれた」とか、「講師の先生方が素晴らしく格式の高い学術大会のようだった」と、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。これらの言葉は、１年間苦労して準備をしてきた甲斐があった、という達成感と満足感を感じさせてくれました。

これも、ひとえに愛鍼会会員の皆様、実行委員の皆様、東海北陸ブロックの皆様、日本鍼灸師会学術委員の皆様、数え上げたらきりがないほど多くの皆様のご協力があり、達成できたことと深く感謝いたしております。ほんとうにありがとうございました。

【明日の鍼灸について】

鍼灸の将来を考える時、私たち鍼灸師は今後どうあるべきか･･･非常に考えさせられる問題です。何年か前に、厚生労働省の諮問委員会が出した提言は「これからの鍼灸師は、より高度な技術と専門的な知識を持った鍼灸師が望まれる」というものでした。果たして、今の鍼灸師はこの提言に応えられているのでしょうか？

真に患者さんに信頼され、医療関係者からも信頼されている鍼灸師はどれほどいるのでしょうか？

今、社会が望んでいる鍼灸師とは、この「より高度な技術と専門的な知識を持った鍼灸師」ではないでしょうか？

私たち鍼灸師は、今後、社会が望む「高度な技術と専門的な知識を持った鍼灸師」にならなければなりません。そのためには、学会や研修会、様々な勉強会に参加して自分を磨く事です。そうすれば、必ず患者さんの信頼も、医療関係者からの信頼も得られることでしょう。そして、鍼灸が医療として、鍼灸師が医療人として、認められる事でしょう。

会長　長谷川 栄一

■ 長谷川会長　挨拶 ･･･ 表紙
■ 第17回　公益社団法人　日本鍼灸師会　全国大会in愛知 ･･･ 2～8頁
■ オンライン講習会／あいさいさん祭り ･･･ 9頁
■ 活動報告 ･･･ 10～11頁
■ 活動報告／お知らせ／編集後記 ･･･ 12頁
■ 協賛企業広告 ･･･ 13～裏表紙

「ヒトを診る－東洋医学の全体観－」

令和４年（２０２２年）12月３日（土）～４日（日）の二日間にわたり、ウインクあいち（愛知県産業労働センター）を会場に、現地とオンライン配信のハイブリッド方式で開催されました。参加者総数が６００名以上となり、予想を超える盛り上がりをみせた全国大会。テーマである「ヒトを診る ― 東洋医学の全体観 ―」に沿った講演やシンポジウム、実技、ワークショップ、初の試みであるＷＥＢ講演など多彩なプログラムの一部始終をお伝えします。

１２月３日（土）

▲開会式のあいさつを述べる大会会頭の要信義先生

◆開会式

▲大会会長の長谷川栄一先生

大村秀章愛知県知事はじめ▶
来賓の皆様から祝辞をいただきました

▲大会会場となった
ウインクあいち

◆講演１
〈日々の臨床を評価しよう！
臨床研究の初めの一歩〉

福島県立医科大学 漢方外科・鍼灸部教授
鈴木雅雄 先生

「ケースレポートが医学を切り開く」このような先人の言葉があるように、症例報告は研究のきっかけを作ることにつながります。研究や論文は臨床鍼灸師にとって縁遠いものではなく、疾患の発見や新たな手技の発表の場でもあると説かれました。新たな知見は、さらに次の研究とつながり最終的な結果は診療手段として認められ患者のためになるとも。臨床家の背中を押すような講義は大学教授ならではと感じました。

◆講演２
〈「病態水準」に基づく患者の心の理解
―何が起こっているか、いかに関わるか―〉

藤田医科大学 医学部 臨床心理士
藤江里衣子 先生

臨床心理士は患者の心理を理解するうえで「神経症水準」「境界例水準」「精神病水準」の３つの病態水準を頭に置いているとのこと。それぞれの特徴やその背景の心の動き、成育歴や家族歴のエピソードを具体的な事例を参考にしてご講演をいただきました。このような視点を頭の片隅において臨床で話を聞くことも、解決の糸口になるかもしれません。

◆講演３
〈身体観察・鑑別診断〉

名古屋大学 医学部 附属病院
総合診療科 客員研究員
松久貴晴 先生

西洋医学の基本的身体診察法を、名古屋大学医学部附属病院総合診療科（名大総診）の研修で用いられるビデオを基にご説明をいただきました。正確な身体診察で８割は適切な診断が下せるとのこと、鍼灸師も知り生かすことができれば臨床に役立つものと思います。なお、このビデオは名大総診のＨＰで無料閲覧できます。

名古屋大学医学部附属病院
総合診療科ＨＰ

◆ランチョンセミナー
折鍼から学ぶ鍼施術の安全性
〈鍼治療における折鍼の事例〉

セイリン株式会社
代表取締役社長　稲葉巧 様

日本を代表するディスポ鍼を生産販売するセイリン（株）ではいかに鍼を管理、生産しているか、また折れる状況を事例と電子顕微鏡写真からご説明をいただきました。捻鍼や体動、電気治療でも「鍼は折れる」を前提に施術をすることを心がけねばなりません。

◆実技
〈てい鍼術 ～ＴＳＴとは～〉

呉竹学園
臨床教育研究センター
マネージャー
船水隆広 先生

てい鍼さざなみ▲
（船水先生より写真提供）

ＴＳＴ（Takahiro Style Technique）と称する「てい鍼術」を、自ら考案した「てい鍼さざなみ」を用い講演していただきました。東洋医学の造詣が深く、独自の解釈と哲学をわかりやすく論じ、また波紋術や五月雨術、霰（あられ）術と名付けられた、さまざまな「てい鍼」の施鍼テクニックを惜しみなく披露されました。

第 17 回　公益社団法人日本鍼灸師会　全国大会 in 愛知

◆シンポジウム１　病鍼連携について

〈医療機関の鍼灸師が感じていること〉

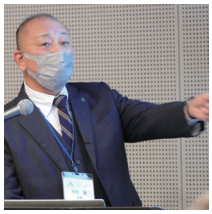
福島県立医科大学 漢方外科・鍼灸部教授
鈴木雅雄 先生

鈴木先生には講演１に引き続きご登壇いただきました。大学病院において鍼灸師とは何者か？医師と鍼灸師との関係性を深め連携を進めるにはどうしたらよいかについて、実際に大学病院で働く立場で語っていただきました。コミュニケーションがいかに大切であるか、顔が見え話ができるようになるまでの段階を４つのステップでご説明をいただきました。

**〈鍼灸院と病院における
情報共有の将来の展望〉**

慶應義塾大学 准教授
鳥海春樹 先生

鍼灸師とはコリを取り病を癒す仕事と言い切り、「鍼灸刺激により起こる身体反応の定量化」についてＣＯＲＩ-ＭＡＰ（Conjugated Regional Inhomogeneity - map：未病を測る古くて新しいパラメータ）として、その検出と検証を研究しておられます。鍼灸刺激が治療的刺激になり医学的知見として集積することは、病院や医師との連携を図るためには必要とのこと。病鍼連携を研究者の立場から述べていただきました。



**〈地域医療連携における
サービス担当者会議の実際〉**

（公社）日本鍼灸師会 副会長
中村 聡 先生

鍼灸院だけでなくデイサービスや訪問看護にも携わっておられ、まさに現場鍼灸師の立ち位置でのご講演でした。病院で行われるサービス担当者会議について事例を用いて語られ、医療サービスにおいて患者に対し鍼灸師は何が出来るのか？その積極的なアピールが重要としました。病鍼連携においては「鍼灸施術の見える化」「医療での共通言語が使える」が必要と唱えられました。

〈シンポジウム〉
会場聴講者からの質問に回答する形で開催。東洋医学の西洋科学的な捉え方についての質問には、いまだ研究段階であるとし、様々な考えがあると示しました。学生らの卒後問題については聴講者から提案などもあり、盛んなディスカッションがなされました。

◆講演４
〈医療面接の意義と、医学教育における医療面接教育の現状〉

名古屋大学大学院 医学系研究科
地域医療教育学 寄附講座 特任助教
髙橋徳幸 先生

医療面接について語るというのは、非常に範囲が広く大変とのことでしたが、鍼灸師にも参考になる内容で分かりやすくご講演。私見として述べられた、鍼灸と医師の医療面接の違いは興味深く「医師は医療面接と身体接触は診断であるが、鍼灸師にとっては診断と治療は同じであり、施術と反応の循環プロセスと考える」が印象的でした。

◀小ホールの感染防止のため、大ホール外にモニターを設置

◀小ホール配信の様子

◀大ホール配信の様子

◆危機管理委員会セッション・リスクマネジメント講演

〈施術所における感染対策と
リスクマネジメント〉

東京有明医療大学 保健医療学部
鍼灸学科講師
菅原正秋 先生

感染対策と折鍼事故についてご講演をいただきました。感染対策としての手指や施術時の消毒はもちろんのこと、職業感染対策として予防接種も重要とのこと。また折鍼伏鍼を起こさないための施鍼技術と鍼の管理、事故時の対応策は忘れてはいけないことと思います。

〈リスクマネジメント研修会
～アンケート集計結果～〉

（公社）日本鍼灸師会 危機管理委員会
副委員長
是元佑太 先生

令和４年５月２４日の夜にＷＥＢ開催されたリスクマネジメント研修会。７５３名もの参加があり、そのきっかけとなった野球選手折鍼事故は業界にとって想像以上の衝撃だったことを物語ります。研修会後のアンケートに４０４名が答えられ、その簡単な報告でしたが詳細は全日本鍼灸学会にて報告予定とのことです。

◆シンポジウム２　連携で支える災害鍼灸マッサージ

〈ＤＳＡＭ災害支援鍼灸マッサージ師
合同委員会としての対応〉

ＤＳＡＭ 災害支援鍼灸マッサージ師
合同委員会 委員長
仲嶋隆史 先生

ＤＳＡＭについて紹介。その活動は急性期から慢性期にかけて長期にわたり可能と考え、平時からいつでも動けるように訓練が必要とのこと。行政と医療多職種との連携を、平時から取る必要があると述べられました。

〈非常事態における鍼灸
～平時の取り組みを考える～〉

特定非営利活動法人
鍼灸地域支援ネット 理事長
日比泰広 先生

鍼灸地域支援ネット「はりネット」の活動と使命を紹介。主に災害支援、地域支援、研修といった３つの事業を行っています。また、災害鍼灸マッサージ活動のデータベースを開発し、ＷＥＢサイトから現地の状況や必要な物資、人員の確保などについて発信しているとのことです。

〈鍼灸マッサージによる災害支援窓口一本化の
社会的要請　～日本災害鍼灸マッサージ連絡
協議会（ＪＬＣＤＡＭ）の活動～〉

日本災害鍼灸マッサージ連絡協議会
（ＪＬＣＤＡＭ）世話人
小野直哉 先生

ＪＬＣＤＡＭの紹介を設立経緯から活動内容を軸にお話をいただきました。有時平時の鍼灸マッサージ活動の窓口の一本化が目的であり、災害時に活動を行う各鍼灸団体との連携、情報共有が重要とのことでした。

〈ただ被災地のために〉

災害鍼灸マッサージプロジェクト代表
三輪正敬 先生

東日本大震災をきっかけにして、全国の被災地での活動を紹介されました。「被災者のために」とは医療だけでなく、雑多な仕事も含んだ活動を示すと述べられ、遅滞ない活動には鍼灸・マッサージの窓口を一つにする必要性を語られました。

〈シンポジウム〉
その後行われたシンポジウムでは「災害支援に携わりよかったこと」の質問に、広島で活動した鍼灸師のエピソード（三輪先生）や、医師から鍼灸師へ感謝の言葉をいただけたこと（仲嶋先生）と答えられました。次に「これからの災害支援のためにどのように連携していけばいいか？」との問いには、各団体同士の相互理解が大切（小野先生）、被災地で働く鍼灸師への支援が必要（日比先生）と答えられていました。最後に「お互い顔が見える関係が大切であり、実際に各団体がコミュニケーションをとり連携している」とまとめられました。

◆シンポジウム３　シンポジウム「ヒトを診る」

〈総合診療医とはーその理念と
アプローチの仕方―〉

中津川市地域総合医療センター センター長
総合診療医
伴 信太郎 先生

１２月４日（日）

〈経絡治療の実際〉

経絡治療学会 副会長
馬場道敬 先生

４３年のキャリアを持つ伴先生に、総合診療医について概要をご講義いただきました。地位包括ケアでの対応、病態診断の専門家、などとともに特にMUS（Medically Unexplained Symptoms）といわれる「診断のつかない病態」などへの対応は鍼灸師にも当てはまることであり、総合診療医の考え方は非常に参考になる内容でした。

経絡治療による診断から治療の流れを紹介。治療目標は訴える患部ではなく病の根本解決は本治による身体のゆがみを取ることと論じられました。

〈家庭医療学を駆使して“ヒトを診る”とどうなるか〉

口之津病院 総合診療科医師
寺澤佳洋 先生

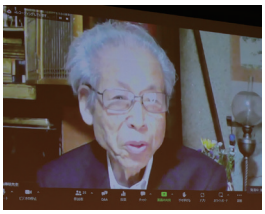
スライドの撮影を許可するオープンなご講演。患者中心の医療について主にご説明をいただきました。【か：解釈、き：期待、か：感情、え：影響】は「かきかえ」と記憶し問診において必要な取り組みと示し、患者の健康観が日々の臨床において気を付ける点と語られました。

〈鍼灸家が「ヒトを診る」ということ〉

北辰会 代表
藤本新風 先生

北辰会では「ヒトを診る」をいかに考えているかを４つの観点から述べられ、「伝統医学としての診察・診断・治療を一貫して行うこと」が大切とされました。

〈シンポジウム〉
シンポジスト自身の質問から始まり、昨今の世情からくる心身の訴えの変化や、コロナの後遺症問題などについて、各先生方の対応や意見を述べられました。寺澤先生や伴先生からは後遺症に対する鍼灸の可能性、痛みの治療について鍼灸への期待が寄せられ、また「安心とは」をキーワードに先生方の考えが語られました。



◆講演５
WEB 講演：〈鍼灸治療が有効な疾患とその治療法〉

首藤鍼灸院 院長
首藤傳明 先生

９０歳にして、いまなお現役で臨床を続ける先生は、今が最も「切れ」がよい治療ができるとのこと。培ってきた経絡治療の神髄と、登録商標された「超旋刺」術の実際の様子が分かりやすく動画で配信されました。

WEB 講演：〈海外におけるお灸の普及〉

北米東洋医学誌 主幹
水谷潤治 先生

カナダに移住して３９年、当地の鍼灸事情や深谷灸法、澤田流治療をベースとした「水谷式灸療法」の説明とテクニックを動画で初公開されました。竹筒を用いた独特の技法は、現地においても好評を得ておられるそうです。また編集主幹を務める「北米東洋医学誌」は、海外での灸の認知に一役買っている冊子として紹介されました。

◆公開講座
〈多職種で人を診る「統合ヘルスケア」〉

名古屋大学大学院 医学系研究科
総合診療医学 客員研究員
伊藤京子 先生

公開講座としてわかりやすく家庭医や総合診療などについてご講演をいただきました。「統合ヘルスケア」とは患者のための多職種による戦略方法であり、専門家がチームとなり関わることは、さまざまな治療法のアプローチが考えられます。それは患者にとって大変心強く、気持ちが救われ、また安心感を得られるとのこと。これからの鍼灸師は広く医療連携が取れるような知識も必要でしょう。

◆ワークショップ

日本鍼灸師会 青年委員会主催
〈鍼灸クイズ大会～つながろう、学生の輪！～〉

鍼灸学生を巻き込んだクイズ大会は学校単位ではなく、学校の垣根をなくし見知らぬ学生同士がチームを作りクイズに臨む新しい企画でした。会場の熱気が外まで感じるほどの異様な盛り上がりを見せたのは賞品が良かっただけではないはず？！（クイズ大会については、P.８青年部の記事もご覧ください）

▲浮きもの通し対決

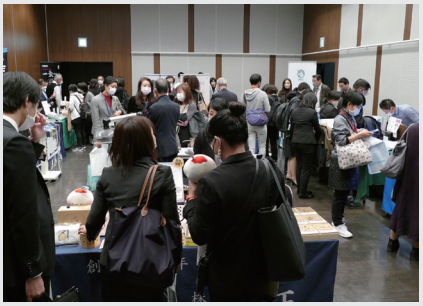
◆閉会式

閉会式では長谷川栄一大会会長、児山俊浩大会実行委員長があいさつを述べ、謝辞と共に実行委員へ労いの言葉をかけられました。令和５年（２０２３年）は１０月２１日（土）～２２日（日）に大阪府泉佐野市にて開催予定です。

【おわりに】

今大会は本会が担当師会となり、約1年にわたり準備し開催にこぎつけました。なにしろ初めてのことであり、テーマをどうするか、講師はどなたにするか、会場は駅から近いほうがいいかとか、オンライン配信や撮影は誰に依頼するのか、懇親会はできるのか・・・。さまざまなことで右往左往しながら、実行委員はそれぞれの担当部署を責任もってやり遂げたと感じております。最後になりましたが出展企業様、ボランティア参加の皆様、各学校関係の皆様、配信動画撮影、編集作業にご協力いただいた皆様に改めて心よりお礼申し上げます。

◆その他



▲大ホール、小ホールの企業展示にも多くの人がつめかけた

▲久しぶりの懇親会で歓談

▲日本鍼灸師会ブース

スペシャルサンクス（撮影、オンライン配信、動画編集）
一般社団法人　日本臨床リカレント教育研究センター　理事長　銭田良博先生
株式会社ゼニタ　銭田治療院千種駅前　伊藤　雄先生
公益社団法人　日本鍼灸師会　業務執行理事　永島茂雄先生
千葉大学大学院　医学研究院　和漢診療学　渡邊悠紀先生

次頁では全国大会に参加された方々の感想をご紹介いたします。
その前に会長から会員の皆様へ
改めて感謝の意を込めてのご挨拶です。

（一社）愛知県鍼灸師会　会員各位

第17回（公社）日本鍼灸師会全国大会in愛知へご協力ありがとうございました。
お陰さまで、全国大会も盛況裏に終えることができました。これも一重に、会員の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝しております。改めて御礼申し上げます。
最終的に参加者は６２８名となり、当初目標の３５０名を大きく上回りました。
会場では多くの先生方からお褒めのお言葉をいただき、頑張った甲斐があったと実行委員（愛鍼会理事）一同、本当に嬉しく思いました。会場でいただいたお言葉を何点か記してみました。

「『ヒトを診る』という事の大切さがよく分かりました」
「講師の先生方が素晴らしく、学術大会のようでしたね」
「青年部のクイズ大会が若者らしい活気にあふれていて、見ていて元気がもらえた」
「クイズ大会へは、学校から依頼され、あまり気乗りがしないまま参加したのですが、とても楽しく参加して良かったと思いました」
「クイズ大会に参加して、とても楽しかったので是非また企画して欲しい」
「臨床心理士の先生の演技力が凄く、よく理解出来ました」
「船水先生の講演が素晴らしかったけど、人が多くて立ってみてました」
「シンポジウムは素晴らしかったけど、座長（長谷川）がしゃべりすぎ」とも言われましたが、シンポジストの先生からは「長谷川先生が座長で楽しかったですよ」というお言葉をいただき安心しました。

また、出展企業の代表者の方からは、「たくさんの先生方が、企業展示コーナーにお見えになり、展示業者は皆大変感謝していました」とのメールをいただきました。
準備は大変でしたが実行委員の皆さんが一丸となって取り組んだため、大きな問題もなく楽しく過ごせた2日間でした。閉会後、いろんな先生から「大会が終わると緊張が抜けて一度に疲れが出るから、身体だけは気を付けてね」と気遣っていただきましたが、1日3万歩は歩いた足が少し痛みましたが、それ以外は疲れも感じず元気に過ごしています。

本当にありがとうございました。

（一社）愛知県鍼灸師会　会長　長谷川栄一

全国大会　感想

まずは皆さまお疲れ様でした。役員に始まり、会員、県内外の先生方、学生など皆さんのご協力により無事開催できた事を感謝しています。講師の先生も素晴らしい方ばかりで充実した二日間でした。運営スタッフとしては、反省点も多々ありましたが、このメンバーと一緒に携わることができて充実感が半端ないです。ありがとうございました。
（ニンゲン四駆）

鍼灸の仕事は真剣勝負ですので、久しぶりに身の引き締まる思いをしました。
（オノダサトル）

まずは、視覚障害者にも利用しやすいよう、抄録集を加工・ご提供いただいた佐合先生に感謝申し上げます。
以下、私が印象に残った内容について書かせていただきます。
青年部企画の「鍼灸クイズ大会」、たくさんクイズを考えるのは大変だったと思います。学生時代に習った基礎的なことで忘れていることも多く、復習できました。また、ＢＧＭや効果音のセンスもよかった！お疲れさまでした。

首藤先生は「鍼で内臓が治るはずがない」という風潮を打破したいというお気持ちで、90才の今日まで施術に当たられてきました。実際に内臓疾患に施術される経穴も上げられていましたので、何度もアーカイブを戻してメモさせていただきました。最近は実際に会場で受講しても、カメラで実技を投映されるので、視覚障害者はどの部位にどんな角度、深さで刺鍼されているかわかりません。コロナが終息したら、首藤先生の超旋刺、船水先生のてい鍼を実体験できる機会を作っていただけるとうれしいです。
ランチョンセミナーと危機管理委員会セッションでは、折鍼事故が取り上げられていました。鍼の頻回使用や旋撚術により、ステンレス鍼でも折鍼は起こり得るということを肝に銘じておく必要があると思いました。災害セッションでは、職業感染対策として、コロナの予防接種だけでなく、破傷風の注射も必要という話がありました。
また、全国からの施術支援も大切だが、被災地域の同業者の支援、地域で守ってきた鍼灸を提供して伝統医療の火を絶やさないようにすることが大切、というお話もありました。滋賀と京都での活動報告の中で、同業者に視覚障害者もいるので、災害弱者としての支援にも取り組んでいるというお話が印象的でした。
ＤＳＡＭのセミナーは第２回から受講してきましたが、今年の「災害弱者」のセミナーは申込を失念していて受講できませんでした。日鍼会の全国大会でも、これからも災害鍼灸を取り上げていただければ幸いです。
「ヒトを診る」のシンポジウムでは、寺澤先生の「ドアノブクエスチョン」が最も印象的でした。次の患者さんが待っていらっしゃるときは、なかなか「今日の治療はこれで終わりますが、他に気になることはありませんか？」とお伺いする余裕はありません。しかし、私たちは痛みが８から３まで低下すれば満足と考えていても、患者さんにとっては、他に起きている問題について差し支えがある状態が残っていると満足できないケースがあるということまで考えて、お帰りいただかなければならないということがわかりました。
コロナについては、伴先生が「後遺症の七・八割は自然に治るが期間の見通しがたたず、自分だけよくならないという不安を抱えている患者さんにどう対応するか」という問題提起がありました。これに対して馬場先生は「コロナに対しても鍼をすると安心感を得られる。鍼灸院に来ることそのものが怖いという患者さんがいるので、治療室、トイレを清潔に保ち、ディスポ鍼を使用することが大切」とおっしゃっていました。寺澤先生は「周りでコロナにかかっている人はいませんか？」と問いかけることで不安を和らげられる。また「鍼で治る可能性があるかもしれないのでやってみましょう」と話してみる。コロナの後遺症に別の病気が隠れていることがある。線維筋痛症の痛みのメカニズムとコロナが似ているので、漢方や鍼灸が見直されるチャンス。」とおっしゃっていました。
最後に、愛知県鍼灸師会の役員、ボランティアの方々の、周到な準備・運営により全国大会が成功裏に終えられたこと、感謝申し上げます。
（平瀬　徹）

今大会では、青年部企画の鍼灸クイズ大会の運営として関わらせていただきました。初めての企画だったため、全てを一から作り上げるという点が大変でした。個人的には、夜に子どもを寝かしつけて（自分も寝てしまうので）アラームを掛け、布団から這い出しては夜中の作業・会議への出席、といった日々が辛く、もう辞めたいと思ったことも。しかし、大会は思った以上に盛り上がり、多くの方から賛辞の言葉をいただくことができて報われました。何よりも、参加学生さんが活き活きと楽しんでいただけたことが嬉しく、やって良かった！との思いです。青年部６名のメンバーがそれぞれの強みを活かして自然とチームが出来上がっていったことも驚きと喜びでした。参加学生さんや教員の方々、日本鍼灸師会青年委員、愛鍼会理事、協賛企業、ボランティア、観客として盛り上げてくれた方々、皆様の支えあっての感謝感謝の大会でした。
（井上祥子）

第17回公益社団法人日本鍼灸師会全国大会ｉｎ愛知の大会のテーマ「ヒトを診る」東西両医学の先生方のお話は、非常に興味深いものでした。病院と鍼灸院、医師と鍼灸師をつなぐ仕組みづくりは、患者、鍼灸師、医師、日本の為にも必要で、問診に時間のかかることの多い鍼灸治療は、イギリス人マックウィーニー医師の、家庭医療学を駆使して患者さんを診ることができる取り組みと同じだと感じました。患者さんを前に、これからの診療で意識できることを、寺澤佳洋先生に教えていただきました。「かきかえ」解釈、期待、感情、影響を意識して患者さんとのずれをなくして、あなたにとっての健康とは何かとか、今後の目標や願望、大事にしたいことは何かなど、人を診る際に役立つお話で、もっとお話をうかがいたいと思いました。ありがとうございました。
（足立和香奈）

鍼灸学生さんを集めてクイズ大会やってみたら、予想以上に盛り上がっちゃった件。

■劇的勝利で日本中が歓喜に包まれた、日本 vs スペイン戦から一夜明けた１２月３日。第１７回（公社）日本鍼灸師会 全国大会が愛知県で初開催されました。そんな中、サッカー W 杯に負けない盛り上がりをみせた「鍼灸クイズ大会～つながろう学生の輪！」はご覧になりましたか？

私たち（一社）愛知県鍼灸師会青年部は、「学生を集めてクイズ大会をやろう！」という目標を立てて、２０２１年の１２月から密かに準備してきました。

「２０２２年１２月に愛知県で全国大会があるんだけど、なんかやってみない？」

そんな長谷川会長からのありがたい無茶振り（！？）もあり、クイズ大会の原案が通ったのは２０２２年の２月頃。

「まだ１０ヶ月もあるし余裕っしょww」

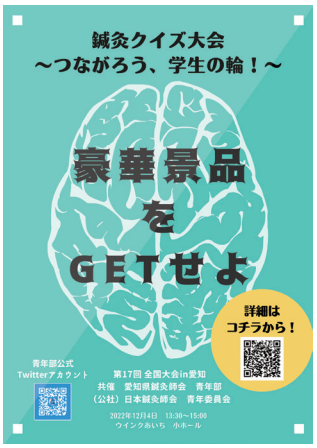
ゆるゆるとした青年部メンバーをよそに、季節は春から夏へと移り・・・みんなのエンジンがかかってきたのが ８月ぐらいだったのでした。

■開催までの道のり。

たびたびｚｏｏｍ会議を重ね、タスクを消化していく作業。「クイズ大会」と聞くとイメージしやすいですが、開催には膨大な 準備と時間が必要でした。問題作成、会場の配置、備品準備、各学校とのアポ（一番大変だった！！）会議は深夜に及ぶことも・・・それでも青年部メンバー、文化祭のワクワクを思い出しつつ、童心に返り、楽しみながら準備できました。

■聞いたことない、見たことない、新たな企画。

「鍼灸クイズ大会～つながろう、学



生の輪！～」クイズに答えて、豪華景品をゲット！！それだけでも十分盛り上がりそうなこの企画。

でもせっかく全国大会に来たんだから、「学生同士つながりをつくろう！」というのが裏テーマ。

学校の垣根をとっぱらい、全員シャッフルして５チームつくるというアイディア。当初いろいろなところから意見がありました。しかし、最終的にこれが大成功。

各チームには、日鍼会青年委員会の皆さまもサポートで配置。

学生さんの緊張をほぐしつつ、和ませてくれていました。

予算２０万円をほぼ景品にぶち込むという、クレイジーなアイディアも功を奏し、クイズ大会は大盛り上がりに終わりました。

「このチームで良かったです！」

「景品の使い道、楽しみです！」

学生さんからの率直なコメントは、これまでの努力が報われた瞬間でした。

■運営スタッフのご紹介とお礼。

ＭＣを努めたのは、リーダー谷崎綾先生と下地大地先生。

谷崎先生の張りのある声が会場を活気づけ、下地先生のナイスなボケが緊張をゆるめてくれました。難しい問題作成を一手に引き受けたのは、毛利陽介先生。今大会、影のＭＶＰといってもいいかもしれません。

半藤かな先生はわかりやすいスライドを作成してくださいました。（センスがすごい！！）井上祥子先生はいわば総務役。つねに全体を把握して、情報伝達やスケジューリングなど 細かな配慮をしてくれました。

また、各校の先生方、学生スタッフの皆さま、青年委員の皆さま、銭田良博先生、伊藤雄 先生、村田傳宏先生、運営に携わってくださったすべての方々に深く感謝申し上げます。

「ひとりひとりが主役になって楽しいことをしよう！」

当初のゆるいテーマが形となり、みなさんの思い出になれたことが嬉しいです。だれひとり欠けていても成功しなかったでしょう、みんなが主役でした。本当にありがとうございました！ブラボーー！！

青年部　長岡哲輝

第9回 オンライン講習会
第71回 学術講習会
2022年10月16日

「どうしたら治せるのか2」
講義「鍼灸師の身体技法
―鍼灸師の技術論―」
実技「鍼灸師の手の体操」

講師：伊藤和真先生（鍼灸研修会・知足代表／鍼灸治療院　鶴舞社中院長）

10月16日に開催された伊藤和真先生のオンライン講習会を受講しました。ちょっとしたハプニングから、第1回目の講習を受けることができなかった私が、このような感想文をお引き受けしてよいものかどうかと迷いましたが、伊藤先生は今回の講習の中で第1回目の復習もしてくださいましたので、その言い訳は通用しなくなり、お引き受けすることにしました。

京都で数年間、名古屋で30数年間、鍼灸治療を生業にしている私にとって、先生から投げかけられた「どうしたら、今より治せるようになるのか?」という問いかけはある意味で、いい衝撃となりました。

日常的に様々な患者様に対応し、満足いただける時もあれば、ウーンと悩んでしまうこともあるからです。本講義のポイントは3つあり、要約するとこういうことになります。

①触れる技術と鍼の操作技術が必要
②この2つの技術は手の体操によって高められる
③触れる技術を身に付けると、臨床家はマンネリがなくなり、研究者は研究に新しい視点が生まれる

触れる技術を高めるには、皮膚表面から皮下への触れ方「しっとり、ぴったり、やさしく、やわらかく」そして丁寧に、詳しく。6つの頭文字をとって、SPY＋TKが大切。これが第1回目の復習であり、診察場面での手の触れる技術です。でも、この技術の習得は相当難しいと感じました。

治療場面でも触れる技術が必要ですが、もちろん鍼の操作技術も必要であり、皮膚表面からの治療ポイント、角度、深さ、刺激の質と量が鍼灸治療の4要素となります。鍼灸臨床では身体、特に手指を中心とした「触覚を高める」ことと「巧緻性を高める」ことで今よりも「治せる」可能性が高まる、と学びました。

◀配信は事務局にておこなわれた

▶終始にこやかでわかりやすい伊藤先生の講義

では、技術を磨くためにはどうしたらいいのか?という実技編が圧巻でした。手の体操によって鍼の操作技術の巧緻性を高めるための

①手の回内回外運動
②親指の回転運動
③両手のグーパー運動

を教えていただきましたが、なかなか難しく真似るのが大変でした。これらを3か月続ければ鍼の操作技術が上達するそうですよ。

わかりやすく丁寧にお話しくださり、素晴らしい手の体操を見せてくださった伊藤和真先生および、このような講習会を企画、運営くださった（一社）愛知県鍼灸師会の諸先生方に感謝申し上げます。

伊藤先生には令和5年3月19日（日）に「どうしたら治せるのか3」で、「頭」の内容、診断や治療方針のための鍼灸治療の理論を講義していただけます。皆さん、楽しみですね！

会員　石川佳子

あいさいさん祭りに参加して

令和4年10月30日（日）に愛西市文化会館にて3年ぶりに東洋医学のブースを設け、来場者に対して小児はり、お灸の体験コーナーを行いました。

新型コロナの蔓延にて2年間ブランクがあり、来場者数も読めず不安はありました。また、コロナ禍でもあるため感染対策には気を配り開催しました。体験された半数近くの方が鍼灸未経験であったり、健康不安を抱えていたり、という感じで興味を持たれて鍼灸を経験されていました。今回は中和医療専門学校の学生にも手伝いを依頼し、現場の先生の対応や施術の仕方なども見てもらいました。鍼灸に興味があるけど不安を持たれている方、どこの鍼灸院に行けば良いのかわからない方などがいらして、今後も経験イベントや自治体などを通じたボランティア、広報活動を行うことが、結果として我々の活躍が出来る場も増えると感じました。

◀東洋医学コーナーは和室に設置され、たくさんの来場者でにぎわった

▶ボランティア活動をされた皆さん

今回ご協力いただきました先生方、企業様にお礼申し上げます。

備品提供：セイリン㈱、西尾衛生材料㈱、㈱山正（敬称略）

女性部　部長　石井美恵子

●令和４年度　東海北陸ブロック会議に出席して

令和４年度東海北陸ブロック会議が、令和４年10月９日（日）と10日（月）の２日間にわたり開催されました。９日は、静岡県浜松市雄踏文化センター、10日は浜松商工会議所と場所を変えて開催されました。本会からは、長谷川会長、山田副会長と池田の３人が出席しました。本会議への参加者は合計27名でした。

師会長会議の終了後、午後１時30分より東海北陸ブロック長である石川県鍼灸師会定池会長の挨拶で始まり、その後、開催担当師会である静岡県鍼灸師会大橋会長が議長となり、ブロック会議が開催されました。

出席者の自己紹介の後、（公社）日本鍼灸師会要会長より、日鍼会の主な事業、活動について報告がなされました。その主な内容は「日鍼会ブランド」の確立に向けた他団体との協力、鍼灸と関わりのある大学との連携、東洋療法試験財団との連携などについてでした。また、ペーパーレス化、ＩＴ化の推進、新会館の有効利用、ＮＥＬＳの進捗状況、鍼灸師の活動の場を広げる活動について説明がなされました。その後、事前に出されていた日本鍼灸師会への質問に対する回答及び質疑応答が行われました。

次に各県師会の事業報告・事業計画が報告され、それぞれ質疑応答が行われました。

最後に愛知県鍼灸師会より、令和４年12月３日、４日に開催される全国大会に関して詳細な説明があり、主幹である東海北陸ブロックの各県師会に役割分担などの協力要請がなされました。第１日目はこれをもって４時30分に終了しました。

会議終了後、場所を宿泊先のグランドエキシブ浜名湖に移し、懇親会及び二次会が開催され、各県の先生方との親睦が深められました。

第２日目は、午前９時より会議が再開されました。この日は、各県師会より提出されたブロックに対する質問事項について、協議及び質疑応答が行われました。

【主な協議事項】

・会員の減少　新入会員の獲得について
・災害救援活動　災害協定　新型コロナ対策について
・公益法人取得への取り組みについて
・マイナンバーカード（健康保険証対応）、電子申請への対応について
・鍼灸師の資質向上　医師からの信頼、連携の仕方について
・他業種との連携について

午前11時をもって二日間にわたる会議は滞りなく終わり、静岡県鍼灸師会榎田副会長の閉会の辞が述べられました。

閉会後、次年度開催県の富山県鍼灸師会深田副会長の挨拶があり、富山での会議は各県師会の会長、副会長が現地参加、他の理事はＷｅｂでの参加と決まりました。

総務部　部長　池田　達

●地域ケア推進委員会ＷＥＢ研修会に出席して

私は現在、在宅治療と医療機関における機能訓練指導員を中心に仕事をしています。今回、10月30日に日本鍼灸師会の地域ケア推進委員会会議に出席しましたのでご報告させていただきます。

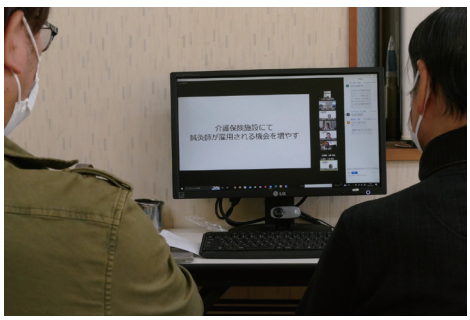
今回の委員会では、地域ケアの概略と今後の進め方について、日鍼会地域ケア推進委員会から説明がありました。政府は近い将来訪れるであろう高齢者の増加に対し、地域ケア対策をすすめています。地域ケア対策とは、高齢者の医療・介護・福祉・住まい等を地域でケアしていくというものです。

この地域ケアの連携の輪に「我々鍼灸師も会として積極的に参入を表明し、鍼灸の認知度を高めていく活動を進めていく必要がある」との事でした。

特に医師・看護師・ケアマネージャー・福祉施設管理者等へのアプローチが重要で、ケアマネージャー主導のサービス担当者会議への積極的参加など重要性の高い方法論のお話がありました。

他業種からの訪問施術の参入も日々増加、加速しており、個人の努力だけでは解決できない部分もあります。それには会として組織的に取り組み、鍼灸師ができることをアピールする必要があるでしょう。そして個人としては地域に密着した鍼灸院となり、機能訓練を通して地域貢献をすることで、人とのつながりを密にしなければならない、という思いを一層強くさせる会議でした。

会員　浅野清治



▲本会事務局では長谷川会長と廣畑保険部長が参加

理事会および全国大会会議報告

2022年7月24日　令和4年度
第2回（一社）愛知県鍼灸師会理事会
事務局およびWeb会議（ZOOM）10時～12時
出席（理事監事）12名／委任出席3名／オブザーバーなし／議事記録人：池田 達
★報告事項／1. 代議員総会について（長谷川）／2. 長野県針灸師会70周年記念式典（長谷川）／3. 各部報告　□学術部（村田）伊藤和真先生学術講習会について　□広報部（佐合）あいしんletter7号経過報告　□組織部（児山）組織部報告　□保険部（廣畑）保険講習会報告・今回の変更点の概要　□渉外部（長尾）公衆衛生事業功労者について、令和4年度公衆衛生事業功労者の件・議案／愛西市の今年の健康祭りについて（石井）東洋医学コーナーとして参加、賛成議決／大樹生命保険について（児山）任意であるが加入をおすすめする　□全国大会広告日理工の担当者より（佐合）募集期間とバナー広告について提案賛成議決　□会長表彰について（長尾）今回は対象外であるとのこと　□各師会との意見交換会について（長谷川）山田財務部長、児山副会長が出席予定　□田中弁護士相談について（長谷川）設立年月日について
【全国大会について】1. セイリンのランチョンセミナーについて（児山）小ホール40分枠で開催／2. 開会式招待者について（長谷川）連絡は知事のみ／3. 抄録挨拶依頼について（長谷川）長谷川会長一任／4. 後援名義について（長谷川）愛知県のみ　5.【西鉄旅行】全国大会の件／参加登録申込フォームについて（佐合）担当は廣畑保険部長へ変更する／6. 青年委員会担当講座について（谷崎）日鍼会青年部と協力して企画、学生参加型に／7. 後援名義使用許可の報告、愛知県鍼灸師会顧問の抄録様挨拶文の辞退について（長谷川）審議決済み／8.「Care Show Japan 2023」チラシ・来場招待状の同封、会場設置について（児山）賛成議決／9. ブロックの担当部署について（長谷川）検討し各ブロックへ依頼予定。今後は5名の執行委員で進める（長谷川、児山、山田、池田、村田、佐合）7月30日Web会議を行う。大会の配信は永島先生、千葉大学渡邉先生、銭田先生と相談／10. 大会の広報活動についてはポスター、チラシを作成し配布予定

2022年8月25日　令和4年度
第3回（一社）愛知県鍼灸師会理事会
Web会議（ZOOM）　21時～23時
出席（理事監事）10名／委任出席4名／オブザーバーなし／議事記録人：池田 達
★議案【全国大会の件】
1. 受付の担当責任者とスタッフ備品について／2. 会場レイアウトと備品、スタッフについて／3. 休憩スペースの備品とスタッフについて／4. 危機管理マニュアル／5. 担当者一覧表／6. 会場付近図／7. 運営内容について（各スタッフのする事）／8. 備品リスト（一覧表）／9. 全国大会の道順案内用看板／10. 注意事項について／11. 会場避難通路の案内／12. 役員一覧表／13. タイムテーブル／14. 開会式出席者について／15. 抄録用挨拶文の経過／16. 講師抄録用原稿の経過／17. WEB担当者会議の報告
※すべて全国大会に関する検討課題でした。インカムの使用、Web配信担当、企業出展、青年部企画、ポスターや参加費、抄録の進捗状況、本会HPでのオンデマンド配信など多岐にわたり検討協議がなされました。

2022年10月2日　令和4年度
第4回（一社）愛知県鍼灸師会理事会
事務局およびWeb会議（ZOOM）13時～17時
出席（理事監事）11名／委任出席3名／オブザーバーなし／議事記録人：池田 達
★報告事項 1. 女性部会報告（石井）愛西市健康祭り報告／2. 中部大学報告（長谷川）中部大学CAAC「鍼灸・漢方」講演／3. 同意医師の紹介について（長谷川）会員から同意医師の紹介依頼があったが困難と回答
★議案【全国大会の件について】1. 司会者の件（児山・高橋）学生と深谷先生に依頼／2. 申込みの件（廣畑）9月30より申し込み開始した／3. 抄録について（佐合）抄録の内容について報告検討／4. 祝電について1顧問（長谷川）日鍼会主催を考慮して依頼する／5. WEB担当者会議（児山）アーカイブについて1か月を予定と報告／6. 学生申込について（廣畑）学生団体参加の申し込みについて決議／7. 名鍼からの問い合わせについて（長谷川）連絡済み／8. 各師会への担当依頼（役務分担）担当者をおおよそ決定、会場までの案内法検討、会場備品の検討
★その他／あいさいさん祭り（石井）備品について西尾衛生材料様に依頼

2022年10月19日　令和4年度
第5回（一社）愛知県鍼灸師会理事会
Web会議（ZOOM）21時～23時
出席（理事監事）13名／委任出席1名／オブザーバーなし／議事記録人：池田 達
★議案【全国大会】1. 会員ボランティアをどの様にして募るか／2. 手当をどうするか？／3. 懇親会会場に関して／4. 愛鍼マ会の不参加について／5. 中和の不参加について／6. 各会場サブリーダーの仕事の把握と説明について／7. 各役割の説明用紙と朝の説明会／8. 当日朝のシュミレーションについて／9. 7時、理事の全員集合について／10. 西鉄旅行への苦情／11. 小ホールの業者展示と講演会場の配置について／12. 機材のチェックについて／13. 日鍼会役員集合時間について／14. 公開講座の取扱について・予約方法／15. 開会式式辞／16. 役割分担について／17. 高杉浩司医師の件／18. バックテック社の全国大会業者展示・バナーについて／19. 日鍼会来賓者、招待者について／20. 愛鍼会顧問の祝電について／21. 著作権について
※今回のWeb会議も多くの議案がありました。配信担当の方への謝礼について、ボランティアの数の問題、小ホールの展示と講演の仕切りの検討、備品の確認、来賓招待者の確認、などなど検討事項が山のようにあり、本当に開催可能なのだろうかと不安になるほどでした。
★その他／あいさいさん祭りについて（石井）参加ボランティアの確認
※定例理事会以外にも下記のように臨時会議や下見を重ね、全国大会の準備がなされました。まさに全国大会一色に染まった半年間と言えるでしょう。

・8月23日（火）
　全国大会Web関連臨時会議（Web）
・9月11日（日）
　全国大会臨時会議（事務所）
・9月13日（火）
　全国大会Web関連臨時会議（Web）
・10月7日（金）
　全国大会Web関連臨時会議（Web）
・10月11日（火）
　ウインクあいち下見
・10月16日（日）
　全国大会臨時理事会（事務所）
・10月29日（土）
　ウインクあいち最終打ち合わせ
・11月9日（水）
　全国大会臨時理事会第5回定例理事会（Web）
・11月12日（土）
　全国大会臨時理事会（事務所）
・11月21日（月）
　全国大会臨時理事会（Web）
・12月2日（金）
　全国大会臨時理事会（事務所）

▲9月11日 全国大会執行委員による臨時会議

▲10月16日
銭田先生も加えて臨時会議

◀12月2日
大会前日に永島先生、渡辺先生、伊藤先生が加わり撮影とオンライン配信のリハーサル

●全国大会ｉｎ愛知会計監査報告

1月29日（日）午後4時30分から午後6時00まで、東京都池袋の「としま区民センター」において、第17回公益社団法人日本鍼灸師会全国大会in愛知の会計監査がありました。

（一社）愛知県鍼灸師会からは長谷川大会会長と児山大会実行委員長、大会財務担当の山田の三人が出席しました。（公社）日本鍼灸師会からは要会長、中村副会長、安田副会長、南副会長、寺川法人管理担当業務執行理事、仲野監事、浜田監事、が出席されました。監査資料として、「決算報告書」「事業実績報告書」「参加者別一覧表」を提出しました。いくつかの質問については、持参した資料を元に説明し了解されました。

全国大会（12月3日～4日）が終わり、ほっとしたのもつかの間、すぐに会計監査の準備に取りかかりました。1月24日までアーカイブ配信があり、会計を締める事ができたのは会計監査の数日前でした。長谷川会長、事務の小川さんと最終確認をしながら、決算書が完成したのは、会計監査の前日でした。

昨年の東京大会に引き続きコロナ禍での開催でしたので、参加者数が心配されましたが、予想の倍近くの参加者がありうれしい誤算でした。ライブ配信はかなり費用がかかるため、配信業者には依頼せず、配信技術のある先生方にお願いをしました。そのためかなり予算を抑える事ができました。千葉大の渡辺先生、本会の銭田先生には深く感謝いたします。このように大きなトラブルもなく赤字にもならず、無事大会を終えられたという事は、ひとえに会員の皆様のご協力の賜物と、実行委員一同深く感謝いたしております。

ありがとうございました。

全国大会財務担当　山田憲治

●お知らせ

・スペシャルオリンピックス日本・愛知「第11回ジョギングフェスティバル」ボランティア募集

日時：4月22日（土）
　　午前10時～12時
場所：パロマ瑞穂スポーツパーク

ジョギングフェスティバル詳細

本会はこの企画に賛同し、毎回鍼灸でのサポートを行っています。今回もコンディショニングコーナーを設置しサポートを行う予定です。

すでに、数人の先生方からご協力のお申込みをいただいています。参加協力を希望される方は、事務局までメール、電話又はＦＡＸでご連絡下さい。ご参加お待ちしております。

・２０２３年度　学術講習会予定

①６月18日（日）
　第73回　学術講習会（内容未定）
②９月17日（日）
　第74回　学術講習会（内容未定）
③１月28日（日）
　第75回　学術講習会（内容未定）

・他県の学術講習会などは日本鍼灸師会発行のメールマガジンをご登録ください。

・開業鍼灸師の方には鍼灸ネットへのご登録もお勧めします。詳細は日鍼会メールマガジンにてどうぞ！

メルマガ登録

鍼灸ネット

●訂正について

あいしんＬｅｔｔｅｒ7号において左記のように間違いがございました。訂正しお詫び申し上げます。

訂正箇所
Ｐ９　村田先生のお名前
【誤】村田守弘【正】村田守宏
Ｐ10　谷崎先生のお名前
【誤】谷崎　綾【正】谷崎　綾

編集後記

本会として初の担当となった全国大会。撮影のためカメラ片手に会場を歩き回り、久しぶりに足が攣りそうになりました。ただの運動不足か革靴のためなのか？！その革靴も二日目の午前中にはソールが力なくベロンと剥がれ、パタパタと音を立ててストライキ。まさかテープで巻かれてこき使われるとは、夢にも思わなかったことでしょう。▼そんなこともありましたが、大会は大過なく終えることができ、ホッとした師走でした。しかし個人的には会報が完成するまで、終わりが見えないようでどうも落ち着かない。そして少々燃え尽きたような感覚もあり、遅々として会報誌の作業が進まず３月の発刊となってしまいました。大部分が全国大会ネタで埋まっており、相変わらず文章が多く、読まずにポイっと置かれそうな気もしますが、めげずに次に向かいます。▼それなりの時間と労力を割いて、仕事の合間に会報誌を作っていますが、何名の方が目を通しておられるのか知りたいところ。保険研修会の時に聞いてみようかなぁ、と思う今日この頃です。

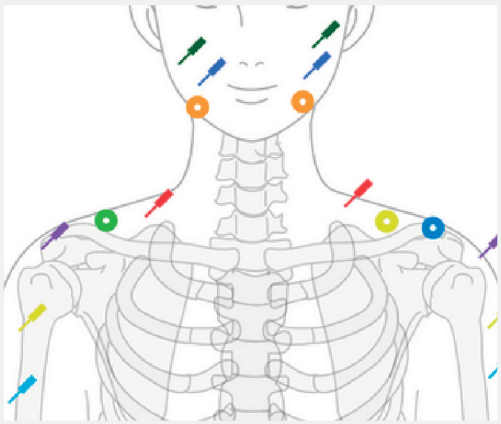
▲よく働いてくれた相棒の勇姿

■発行：（一社）愛知県鍼灸師会　〒451-0063 名古屋市西区押切 2-2-5　■発行者：長谷川栄一　■広報普及部：佐合基樹　寺井奈美恵　■印刷：株式会社プリントパック

鍼灸つながるカルテ

「鍼灸つながるカルテ　」は、ICTテクノロジーを活用することで、
『受療満足度』を高めることにフォーカスした循環型サービスです。

インターネット技術が普及した現代だからこそできるオンラインの施策を取り入れ、
受療満足度に強く影響を及ぼすコミュニケーションの部分を後押ししています。
日常的なカルテ記録を入り口に、ひとりひとりの鍼灸体験の向上を実現します。



視覚的に把握できる電子カルテ

PCはもちろん、タブレットやスマートフォンでも
操作可能なので、往療先でも使用できます。

次回施術の際やスタッフ・患者さんへの共有も
スムーズに行えます。

機能的なスケジュール管理

予約の空き状況が把握しやすいスケジュール機能

WEB予約と連動しており、予約管理が簡単。
急な予約や休診も簡単に入力できるようになりました。

鍼灸院検索サイト 健康はり with はりのマイカルテ

『鍼灸を知って、受けて欲しい』を形にしました。

初めて鍼灸を受ける方の不安を解消するために、
写真やコメント、コースもしっかり掲載できます。

SEIRIN
ーISO 13485認証取得 ー
https://www.seirin.jp/

詳しいサービス
詳細・事前登録
お申し込みは

サービスの概要はYOUTUBEで配信

鍼灸つながるカルテPV

鍼灸つながるカルテ

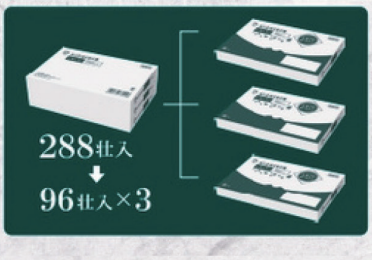
UNICO

ユニコ らくらく灸

もぐさと台座が
大きくて
使いやすい

参考売価
¥2,200(税抜)

治療用・販売用に
お使いいただけます。

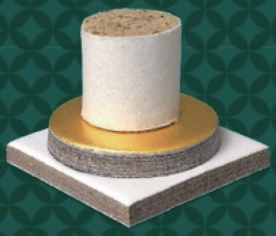


強力温熱

強力な熱さを好まれる方、
レギュラー灸では、
物足りない方

ハード

設定温度 59～63℃ | 燃焼時間 約7～8分
※室内の温度設定約25℃の場合

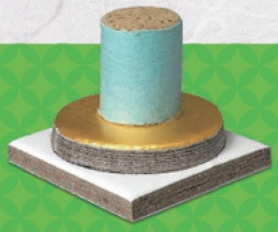


じっくり温熱

お灸に慣れている方、
しっかりとした熱さを
好まれる方

レギュラー

設定温度 57～60℃ | 燃焼時間 約7～8分
※室内の温度設定約25℃の場合



やさしい温熱

初めてお灸をされる方、
女性の方、敏感肌の方

ソフト

設定温度 49～53℃ | 燃焼時間 約6～7分
※室内の温度設定約25℃の場合

日進医療器株式会社
鍼灸・柔整部

〒541-0045 大阪市中央区道修町1-4-2
TEL.06-6223-1781
FAX.06-6223-1567

ユニコネットホームページ
https://unico-net.jp
Email info@unico-net.jp

お問い合わせ
フリーダイヤル 0120-993-118

伊吹堂正本家元祖

亀屋のお灸

http://www.ibukimoxa.jp

あつきすくなく

よくきくもぐさ

亀屋佐京商店

〒521-0202
滋賀県米原市柏原
2229番地
tel. 0749-57-0022
fax. 0749-57-0505

こだわりの 煙・ニオイのでない
専用炭化もぐさ

Point ❶ 原料はもぐさ 100%

Point ❷ すぐ火がつく！ 約20分間

Point ❸ ちょうどよい温度と時間

100%もぐさのみを使用した炭化もぐさ。
もぐさ本来の火付きの良さはそのままに、
煙・ニオイほぼゼロを実現しました。

特設 WEB ページ公開中！

ここでは紹介しきれなかった詳しい情報や
スペシャルムービーは特設ページからご覧
いただけます！ QR コードでアクセス！

伊吹もぐさ製造本舗
YAMASHO 株式会社 山正
https://moxa.net E-mail:info@moxa.net

facebook Instagram

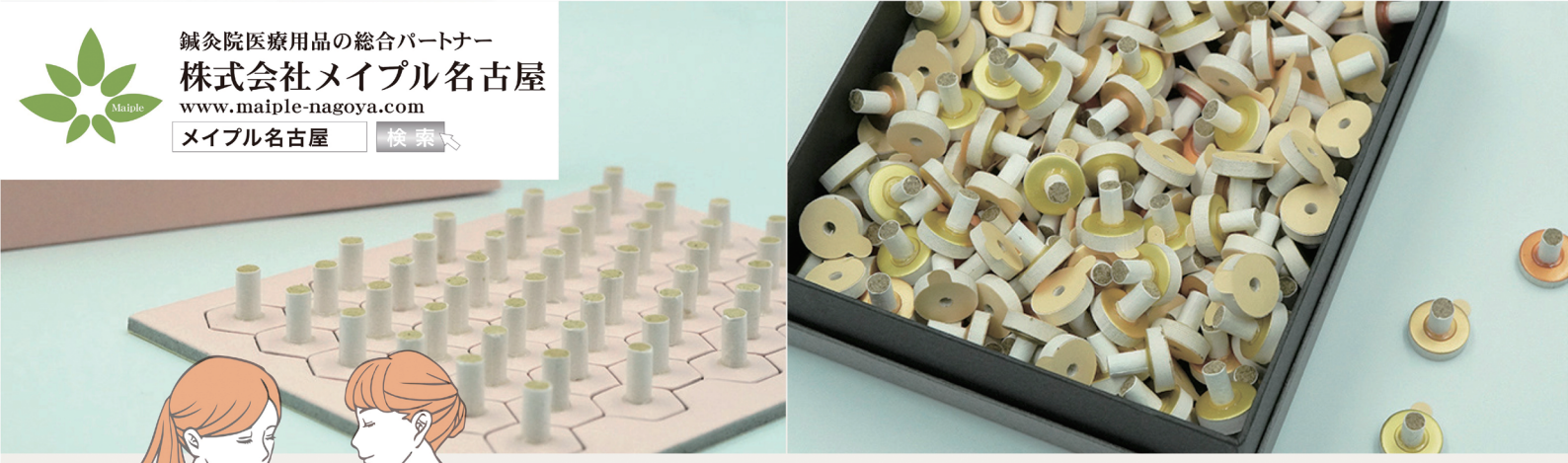
鍼・お灸・物療機器・その他材料
創業８０年の実績
取扱いメーカー・商品多数
ご相談ください

訪問だから出来る３つの
モットーとは
顧客への信頼
送料の軽減
情報提供

ネット時代のこの時代、定期
訪問をすることでお客様に寄
り添う営業を目指します。
一度お電話、ご相談ください。

西尾衛生材料㈱
〒451-0074
愛知県名古屋市西区
万代町１－１０
TEL：052-522-5251
FAX：052-524-3121

鍼灸院医療用品の総合パートナー
株式会社メイプル名古屋
www.maiple-nagoya.com
メイプル名古屋　検索



Harikyu Mall

鍼灸師さんがおすすめする通販サイト

＼在庫なし！リスクなしの物販を始めるなら／

「はりきゅうモール」登録治療院募集中

こんなことにお悩みではありませんか？

「来院したくてもできない患者さんに何かできることはないか・・・」
「来院ができない患者さんのために通販をしたいが・・・」
「ECサイト作成や広告費が・・・」
「在庫を抱えるリスクが・・・」

梱包材の手配
配送料
集荷の手配
在庫を抱えるリスク
通販サイトを作る費用

はりきゅうモールなら全て解決！

まずはお問合せから！

【鍼灸院用】はりきゅうモールお問合せフォーム